

持続的生産強化対策事業のうち茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進事業に関する事業評価票

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物・畜種名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容		成果目標の達成状況			評価機関名	関東農政局	
							基準年 平成30年度	目標年 令和3年度	達成率	具体的な 取組内容		
東京都	港区	日本茶輸出促進協議会	茶	令和元年	相手国のMRL基準をクリアする茶園面積又は出荷量の全事業実施面積又は事業体主体における総出荷量に占める割合を直近値より5ポイント増加	増加ポイント				-190.0% 未達成	・検討会の実施 ・栽培実証ほの設置 ・課題等解決のための調査・分析(残留農薬分析) ・実需者と連携した商品開発(上質緑茶を使用したドリンク)	農林水産省生産局、政策統括官、地方農政局(北海道農政事務所、内閣府沖縄総合事務局)の評価所見 本事業を活用して、上質緑茶を使用した新商品のドリンクを販売開始することが出来たが、残効性のある農薬やMRL基準の厳しい農薬が検出されたことによりMRL基準をクリアする茶園面積割合の目標が未達成である。栽培管理の徹底の取組を盛り込んだ改善計画の提出を求め、引き続き目標達成に向けて努力するよう指導する。また、事業実施時に掲げた現状値90%については推計値であったことから、実態に即した数値へと変更し、既存の目標設定の考え方にのっとり目標値を変更する。
					100	10	90	71				
東京都	中央区	国際ガストロノミー交流協議会	茶	令和元年	開発した新商品を1以上販売開始する	増加販売数				480.0% 達成	・検討会の開催 ・消費者・実需者ニーズ等の把握(国内外でのニーズの把握) ・実需者等と連携した商品開発(新商品開発と国内外での商談会の開催) ・消費者等の理解促進(国内外での日本茶に関する理解促進、普及活動)	実需者と連携して多数の茶製品を開発し、商品は国内外で販売されており、成果目標を達成している。
					5	5	0	24				
東京都	中央区	国際ガストロノミー交流協議会	茶	令和元年	新たな販路を1以上拡大する。	増加販路数				340.0% 達成		
					31	5	26	43				
静岡県	島田市	大井川農業協同組合	茶	令和元年	被害単収から10%以上の単収向上(単位:kg/10a)	増加単収				-29.8% 未達成	・検討会の開催 ・新たな栽培技術等の実証導入(防霜ファンのリース導入)	防霜ファンを導入したことにより凍霜害の被害はなかったものの、前年の夏場の干ばつにより収量が増えず目標が未達成である。栽培管理の徹底の取組を盛り込んだ改善計画の提出を求め、引き続き目標達成に向けて努力するよう指導する。
静岡県	牧之原市	ハイナン農業協同組合	茶	令和元年	産物1kg又は10a当たり労働時間を最低でも直近値の2%以上低減(単位:h/10a)	減少労働時間				117.7% 達成	・検討会の開催 ・新たな栽培技術等の実証導入(乗用型中刈機・乗用型摘採機・生葉運搬用トラックコンテナ・乗用管理機・防霜ファンのリース導入)	農業機械のリース導入を行ったことにより、労働時間や生産コストの削減、契約出荷割合の向上等が実現しており、成果目標を達成している。
					1.538	-0.497	2.035	1.45				
静岡県	牧之原市	ハイナン農業協同組合	茶	令和元年	総出荷量又は総出荷額に占める契約出荷量又は契約出荷額の割合を5ポイント以上増加	増加ポイント				111.5% 達成		
					12.2	12.2	0	13.6				
茨城県	久慈郡大子町	奥久慈大子こんにやくの会	こんにやく	令和元年	開発した新商品を1以上販売開始する	増加販売数				100.0% 達成	・検討会の開催 ・消費者・実需者ニーズ等の把握(こんにやく粉を使用した商品の調査) ・実需者等と連携した商品開発(こんにやくを使った新商品開発) ・消費者等の理解促進(ブランド統一のためのロゴマークシールの作成)	こんにやくを使った新商品を開発し、道の駅や個人商店での販売がされており、成果目標を達成している。
					3	3	0	3				
茨城県	久慈郡大子町	奥久慈大子こんにやくの会	こんにやく	令和元年	新たな販路を1以上拡大する。	増加販路数				100.0% 達成		
					5	5	0	5				
群馬県	安中市	ぐんまシルク開発協議会	繭・生糸	令和元年	開発した新商品を1以上販売開始する	増加販売数				100.0% 達成	・検討会の開催 ・消費者・実需者ニーズ等の把握(絹業界や消費者のニーズを調査) ・実需者等と連携した商品開発(ぐんま細の6A格生糸と新しい単衣きもの用絹素材の開発)	実需者と連携してぐんま細の6A格生糸と新しい単衣きもの用絹素材の販売を開始したが、コロナ禍による和装業界での需要減退により、販路拡大の目標が達成できなかった。今後、販路拡大に向けた広報活動の強化等を盛り込んだ業務改善計画の提出を求め、引き続き、目標達成に向け努力するよう指導する。
					2	2	0	2				
群馬県	安中市	ぐんまシルク開発協議会	繭・生糸	令和元年	新たな販路を1以上拡大する。(ぐんま細の6A格生糸の販売先)	増加販路数				40.0% 未達成		
					5	5	0	2				
山梨県	南アルプス市	山梨県蚕糸連絡協議会	繭・生糸	令和元年	開発した新商品を1つ以上販売開始する。	増加販売数				100.0% 達成	・検討会の開催 ・実需者等と連携した商品開発(マスク、レックウォーマー等の開発)	新商品の販売を開始し、順調に売上を伸ばしている。また、新商品を5つ以上販売という目標は達成しており、さらなる取組に期待する
千葉県	白井市	千葉薬用機能性植物生産推進協議会	薬用作物(トウキ・フタバムグラ・ハンシレン・イヌホウズキ・セキケンセン)	令和元年	実施地区において、事業で取り組む薬用作物合計の栽培面積を50パーセント以上増加(単位:a)					100.0% 達成	・検討会の開催 ・栽培実証ほの設置 ・関連設備・農業機械の開発・改良(既存の機械を薬用作物用播種機・収穫機等に改良)	遊休農地の活用により栽培面積を拡大していったものの、コロナ禍により主な生産者が資金面で人を十分に雇用することが出来なかったこと、栽培を断念した品目があったことから薬用作物の生産量増加の目標が未達成である。労働力の確保及び栽培管理の徹底の取組に加え、栽培する薬用作物の見直しを盛り込んだ改善計画の提出を求め、引き続き目標達成に向けて努力するよう指導する。
					250	182	68	250				
千葉県	白井市	千葉薬用機能性植物生産推進協議会	薬用作物(トウキ・フタバムグラ・ハンシレン・イヌホウズキ・セキケンセン)	令和元年	実施地区において、事業で取り組む薬用作物の合計の生産量を50%以上増加(単位:t)					-14.0% 未達成		
					2.8	2.24	0.56	0.246				

(注)成果目標の達成状況欄に達成状況の経過を記載すべき事業にあっては、記載例を参考に列を挿入し、記載するものとする。